

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名:	畑地帯総合整備事業
箇所名:	重須
照会者:	地元推進協議会役員(自治会長、部農会長等) 10名

担当課:農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	幹線農道のうち、現道拡幅された区間について、本当に良い道になった。これまでは対向車が来れば狭い道を長距離バックして対応していたが、その必要もなくなった。今後も幹線農道の拡幅を継続して進めてほしい。	営農条件の改善に大きく寄与する幹線農道の拡幅について、引き続き効果的な施設整備に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2	事業継続を要望	幹線農道のうち、新規開削された区間について、これまで横方向の狭い道でしかアクセスできなかったが、それらを縦断的に結ぶ広い道ができたことで大変便利になった。拡幅はされているので、あとは早く舗装をかけてほしい。	
3	事業継続を要望	広がった道路沿いは大変便利になった。一方で、地権者から「自分のところの工事はいつになるのか」という問い合わせも役員に来る。とにかく早期の事業完成を望む。	
4	事業継続を要望	未整備の支線農道について整備を進めてほしい。	4本の支線農道については、施工時に全面通行止めが必要であり、迂回路がないため、幹線農道との同時施工ができなかったところですが、令和2年度の幹線農道工事によって迂回路が確保できたため、本年度より順次支線農道(付随する排水対策含む)の整備を進めてまいります。
5	事業継続を要望	支線農道の排水が心配。昔から水が集中する箇所があり、過去(=事業開始前)には災害も起きている。事業の中でうまく考えて解決してほしい。	
6	事業継続を要望	畑地かんがい用水の整備を進めてほしい。完成すれば防除の作業が楽になる。	配管は幹線農道の拡幅工事との同時施工となるため、幹線農道の整備を早期に進めて参ります。
7	事業継続を要望	営農とは直接関係ないが、幹線農道が完成すれば、山林火災対策として、山奥のため池(重須の畑かん用水の水源)までのアクセスが容易になり、地元消防団が有効活用できる。そういった意味でも早期の事業完成を望む。	ため池から直接水を汲み上げるほか、ため池付近の幹線農道沿いに農業用水の給水スタンドも設置してありますので、状況に応じて適宜使い分けていただければ幸いです。こうした活用が可能になるよう、幹線農道の早期完成を目指し、事業を進めてまいります。
8	事業継続を要望	幹線道路の新規開設や拡幅に伴い、降雨時の排水の流れが変わってくるため、民地への被害が発生しないよう留意願いたい。	農道整備に伴い必要となる新規の流末排水路については、農道の施工に先行して整備を進めているところです。また、農道拡幅中も降雨時の状況を現地確認し、追加対応が必要となる箇所を常に精査しつつ事業を実施します。
9	事業継続を要望	高齢化により地域の担い手が減ってきている。新たな担い手の育成に加え、一般の人も活用した農地保全といった方策も考えられるのでは。(貸し農園等)道路が広がって一般の方が来やすくなれば、そうした方策もとれるかもしれない。	本事業の目的は、生産性の向上や、経営規模拡大等、地域の担い手への支援に繋がる整備を通じ、農地の保全及び農業の振興を図るものであります。一方、当地区は、担い手による営農に加え、県道沿いの観光みかん園にはハイシーズンに観光バスが連日乗り入れ、大勢の観光客が訪れる等、農業を地域資源として事業開始以前からご活用されている地域と認識しております。
10	事業継続を要望	この地域は景色に関しては日本一と自負している。(高台のみかん畑から駿河湾越しに富士山を望む)道路の拡幅によって一般車両もアクセスしやすくなれば、眺望を地域資源として、市民農園、観光農園、みかんの木のオーナー制度等、様々な展開もできるだろう。地域の今後50年先を考えたとき、この道路はそうした発展につながるものだと考えている。	一般車両のアクセスが容易な園地が増えることで、こうした取り組みを拡大し、地域の農業振興、ひいては地域の活性化と将来の発展に資するような用途で本事業で整備された農道をご活用いただけたら幸いです。

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 中山間地域総合整備事業

箇所名: 松崎地区

照会者: 松崎地区の受益者

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	過疎地域で道路・土地等荒廃が激しいが、生産性を高めるためにも基盤整備がどうしても必要である。	当該地区の区画整理により農業の生産性が向上し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	まだまだ田畑・山林等、道が整備されていないところもあり、荒地になることが予測される。有効に活用するためには整備が必要。鹿等の対策もお願いしたい。	当該地区の区画整理・農道・用排水路整備により農業の生産性が向上し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	事業は意義深いものがあるが、耕作者の確保が必要。皆さんと協力すれば可能性が出てくる。	当該地区の区画整理に伴い担い手を確保し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所について、地区全体として早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車が通れるようになり、仕事の効率が大変よくなった。</li> <li>・農業機械も他人の田んぼを通らずにすむので大変助かる。</li> <li>・水路が整備され、我田引水がなくなった。草刈りをやなくてすむ。</li> <li>・スピードアップしてほしい</li> </ul>	当該地区の農道・用排水路整備により農業の生産性が向上し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	人間の生命を守る食(米・野菜・果物)の環境整備は最も重要な事業だと思います。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	水田を耕作しているが、今は大型の機械を利用するため農道の確保と広い耕作面積(1枚あたり)がどうしても必要になってくる。	当該地区の区画整理により農業の生産性が向上し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	道路・用排水路整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 農村災害対策整備事業

箇所名: 袋井東

照会者: 袋井東地区の受益者及び袋井市東部地域治水対策促進協議会 構成員 計10人

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の拡大が抑えられているが完全ではない。安心して耕作できるよう対策を進めてほしい。</li> <li>・湛水しても早く水が引くようになったが十分な流下能力が発揮できるまで早く進めてほしい。</li> </ul>	現在、下流側の水路が対応出来るよう遊水池の整備を実施しております。さらに湛水被害を軽減し、安心して耕作が出来るよう引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の効果は本事業により高まっているが、当該地域の河川整備と農地防災整備による地域全体の効果検証を行い、より効果の高い治水対策をお願いしたい。改修が未了の箇所があり、いまだ「湛水」などの被害が発生している。</li> </ul>	本地区は「袋井市中部総合的治水対策推進協議会」に含まれており、袋井市東部地域の治水対策を実施しているところです。今後も袋井市、袋井土木事務所とともに被害状況を把握し、地域全体の効果検証を行い、この協議会でより効果の高い治水対策を検討していくよう働きかけていきます。
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域は昔から洪水による被害が多々あり被害防除は長年の悲願である。</li> <li>・本事業により湛水被害が軽減できたことは地域として大変ありがたく事業を継続して更に被害軽減に努めてほしい。</li> <li>・この事業により農地だけでなく住宅の湛水被害が少なくなったことはありがたい。</li> </ul>	農地等のさらなる被害軽減のため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湛水被害が少なくなり、作物にも影響が少なくなってきたおり、大雨でも水捌けが早くなり、被害も少なくなってきたと思う</li> </ul>	農地等のさらなる被害軽減のため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は農業用排水路の整備であるが、下流域等の住宅地への湛水対策も近年主因となっているので、引き続き防災対策を主眼に事業継続をお願いしたい。</li> </ul>	農業用排水路の整備により、農地だけでなく周辺の住宅地等の被害軽減となります。そのため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨のたびに住宅への湛水、道路や水田の冠水も一昼夜以上に亘り、ここでの生活を諦め転居する人もいたが、整備が進むにつれ、河川の排水能力は向上し、住宅への湛水や水田、道路の冠水も短時間で解消されようになった。</li> <li>・安心した生活が戻り、農地の活用も図られ荒廃地も大幅に減少しています。農地の活用が増すことにより、水田の涵養機能も高まっていると感じています。</li> </ul>	農地等の被害軽減、農地の活用が増すよう、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
7	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ湛水する地域もある。</li> <li>・稲作は24時間以上浸かり、家も一瞬でも浸かると被害が大きくなるので、その対策のためにも事業の継続を要望。</li> </ul>	農地等のさらなる被害軽減のため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
8	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷川、屋形の谷水路とも十分に効果が見られますので、引き続き事業の継続をお願いします。</li> </ul>	鷲巣川整備も十分な効果が発揮できるよう、遊水池等の早期完成を目指して事業を推進します。
9	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害が減っているので、今後も事業を進めてほしい。</li> <li>・さらにスピードをもって事業を進めてほしい</li> </ul>	農地等のさらなる被害軽減のため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
10	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑地や水田に長く水が浸かることが少なくなっており、作物への影響が少なくなってきた。遊水池を早く完成させて、水被害が少しでも減ることを要望している。</li> </ul>	農地等のさらなる被害軽減のため、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般県道富士由比線(新々富士川橋)

照会者: 道路改築事業の受益者13名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	慢性的な渋滞が発生しており、交通事故・騒音・排気ガスの発生だけでなく、経済活動にも大きな影響を与えている。 サイクリング熱の高まりもあり、自転車交通量も増加し、以前にもまして渋滞や交通事故が懸念される。 新々富士川橋の架橋により、渋滞解消は勿論のこと、非常時における緊急輸送路の確保の観点でも、大きな役割を果たすことが考えられる。 早期供用開始の実現を切に願う。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるとともに、災害に強い富士川東西地域間の道路網が形成されることから、早期完成を目指して事業を推進する。 また、当該道路には自転車歩行者道を整備し、歩行者や自転車利用者の安全安心を確保する。
2	事業継続を要望	新々富士川橋整備後に交通の流れが大きく変化し、渋滞発生時には今まであまり交通量が多くなかった市道へ渋滞回避車が流入すると思われる。周辺道路など幅員が狭い県道・市道が存在しているため、併せて広範囲に整備を行ってほしい。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。 また、新々富士川橋周辺の市道についても、富士市と連携して整備を進めており、引続きを事業を推進する。
3	事業継続を要望	一日も早い完成を心待ちにしている。 渋滞解消や近い将来予想される大規模な地震の際にも、緊急輸送路として利用が期待できると聞いているので、今後の事業継続を希望する。 接続する右岸側市道及び県道の車両や歩行者についての安全確保をお願いする。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるとともに、災害に強い富士川東西地域間の道路網が形成されることから、早期完成を目指して事業を推進する。 また、接続する右岸側の市道及び県道についても新々富士川橋の整備に合わせて整備し、歩行者の安全安心を確保する。
4	事業継続を要望	慢性的な渋滞の発生により、不便を感じている。 新々富士川橋整備後に交通の流れが大きく変化し、分散され、県道富士由比線の渋滞緩和が見込まれると思われるので、事業の継続を要望する。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	新しい橋ができることによって、渋滞が少しでも緩和される。 それから、いつどのような災害が起こるかかわからない今、より多くの交通経路があるということは安心につながる。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるとともに、災害に強い富士川東西地域間の道路網が形成されることから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	慢性化している渋滞を解消させるには新々富士川橋の早期実現が不可欠。 既に先が見えている事業であるため、投資効果を早急に市民に示せるように一択集中の事業費投資をお願いしたい。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	県道の渋滞を回避する車により生活道路も時には渋滞したり、かなりのスピードで通過する車もある。 土日に出掛けるときは、遠回りしても県道を回避している。 30年余り住んでいるが、ここ10年ほどの渋滞が特に酷いように感じている。 また、東名が通行止めなどの際は、ほとんど動くことができず、交通機能がマヒするため、新々富士川橋の早期開通を強く望む。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。 また、新々富士川橋周辺の市道についても、富士市と連携して整備を進めており、引続きを事業を推進する。
8	事業継続を要望	旧富士川町民の生活圏として富士地域との交流は欠かせないが、交通渋滞は生活するための支障となる。 山梨県への行くための主要道路でもあるため、流通経路と生活道路が重複し、現状キャパオーバーな状況である。 地域活性化を図るにも最低限な整備は必要。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	交通の利便性を高めるために必要である。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	通勤に時間がかかってしまうので早く開通してほしい。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	いまだに朝と夕方の渋滞がひどい。 富士川橋が通れなくなったら大変なことになる。 橋の建設が目に見えてわかるようになってきた。 一刻も早く通れるようになってほしい。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	慢性的な渋滞が少しでも解消し、利便性に期待している。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
13	事業継続を要望	富士川橋の慢性的な渋滞が解消され、富士市街地への移動が容易になる。 利用する橋の選択肢が増えることはありがたい。目的地によっては大きな時間短縮につながる。	当該道路の整備によりルートの選択肢が増え、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮などの効果が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。

令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般県道山梨一宮線

照会者: 一般県道山梨一宮線の自治会関係者、受益者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	これまでの調査費を無駄にしないためにも、できる範囲でよいので事業を進めた方がよい。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	H28の地元同意に基づき、計画案が示されて以降、事業に期待していたが何も進んでいないように感じる。本事業は森町で一番大きな課題であり、ぜひ進めてほしい。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	袋井市・森町が一つの経済圏をなす経済道路として、インター通り線は必要。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	森町のためには、インター通り線が必要。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	森町円田地区は人口減の割合が低く、以前は人口が増えていた時期もある。円田地区の発展が森町全体の発展につながるの、ぜひとも事業を進めてほしい。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	工事着手までに時間がかかっているため、可能な限り早めに道路整備を進めてほしい。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	現道が狭くて危ない。早急な整備を要望する。	現道は通学路となっているが、歩道がないため危険となっている。バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	県予算の事情もあるので無理は言えないが、現道が狭く、小中学生に危険なので、道路整備を進めてほしい。	現道は通学路となっているが、歩道がないため危険となっている。バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	小中学生の通学のため、歩道の整備を進めてほしい。	現道は通学路となっているが、歩道がないため危険となっている。バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	道路整備は進めてほしいが、工事中や完成後も農業用水が使えるように工夫してほしい。	事業の実施にあたっては、地元や関係機関と緊密に連携し、農業用水をはじめとした周辺環境への影響を最小限に抑えるよう調整を図る。

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 太田川事業間連携河川事業(内水被害対策)

箇所名: 磐田市和口・袋井市中

照会者: 磐田市和口自治会、袋井市浅羽西連合自治会(計:36名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	継続を望む	・これからも治水対策が必要だから ・「洪水災害の防止」が重要 (13名)	早期改修に努めます。
2	継続を望む	・これからも治水対策が必要だから ・「洪水災害の防止」、「良好な河川景観の確保」が重要 (11名)	早期改修に努めるとともに、環境に配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。
3	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要 ・もっと早く工事を進めて欲しい。	早期改修に努めるとともに川に近づける整備となるよう検討して参ります。
4	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要 ・川底採砂、川幅を広くするだけでなく、川底、中州の対策をお願いしたい。	早期改修に努めるとともに川に近づける整備となるよう検討して参ります。また、土砂堆積状況を監視し、著しい場合には対応致します。
5	見直しを望む	・もっと早く工事を進めて欲しいから ・「洪水災害の防止」、「動植物の生態系の保存」が重要 ・災害はいつ起きるか、わからないので、工事は早く進めて下さい。	早期改修に努めるとともに、多自然川づくりに配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。
6	継続を望む	・その他 農地買収から30年の年月が経過しており、工期予定を公示され、早期終了を願います。 ・「洪水災害の防止」、「良好な河川景観の確保」、「その他(道路、用水路の保全)」が重要 ・高齢化が進む中、健康の為にランニング、ウォーキングされる方が増えており、今後和口橋、稗原浅羽西公園を核としたスポーツふれあい活動も想定されます。県民にやさしい事業を望みます。	早期改修に努めます。また、当要望については、整備後の管理者となる磐田市と協議していくこととなります。
7	中止を望む	・もう治水対策は充分であるから ・「良好な水質の確保」、「良好な河川景観の確保」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要	まだ目標とする治水安全度に到達しておらず、早期改修に努めます。また、環境に配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。
8	見直しを望む	・その他 大地震の際、津波に対して疑問を感じるため。河川景観が損なわれている感じがする。 ・「動植物の生態系の保存」、「良好な河川景観の確保」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要	早期改修に努めるとともに、多自然、環境に配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。
9	継続を望む	・これからも治水対策が必要だから ・「洪水災害の防止」、「動植物の生態系の保存」、「良好な河川景観の確保」が重要 ・遊歩道等の整備も進めてほしい。	早期改修に努めるとともに、多自然川づくりに配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。
10	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」が重要 ・掘削壁面を強固にいただき、川と堤防の間の安全を十分に確保していただきたい。	早期改修に努めます。
11	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要 ・年々、大きな災害が起きています。川の側に住んでいますので心配です。	早期改修に努めるとともに川に近づける整備となるよう検討して参ります。
12	継続を望む	・その他 太平洋に面する防潮堤の整備が進んだ結果、津波シミュレーションが変化し、太田川への遡上が拡大することで二瀬橋辺りで溢れる可能性が心配。シミュレーションをしっかりとやって、その結果に基づいた計画を実行して欲しい。 ・「洪水災害の防止」が重要	海岸の防潮堤が想定している高さが確保されているものとしてシミュレーションしており、それを基に整備をしています。早期改修に努めます。
13	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」、「動植物の生態系の保存」、「良好な水質の確保」、「良好な河川景観の確保」、「水に親しみやすい環境の整備」が重要 ・昨今の災害は従前と比べ、想定外の規模と被害が頻繁に起こっているように思います。災害が起これば太田川も例外ではなく台風時などにも水位が上がり、不安を感じることがありましたので、改修を継続して頂けることは、とても有難く思います。	早期改修に努めるとともに、多自然川づくりに配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。また、川に近づける整備となるよう検討して参ります。
14	継続を望む	・これまでの工事が洪水防止に効果があるから ・「洪水災害の防止」、「良好な河川景観の確保」が重要 ・原野谷川の工事も検討してもらいたい。	早期改修に努めるとともに、環境に配慮した整備、適正な維持管理に努めて参ります。また、原野谷川についても同様に治水安全度の向上に努めます。

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 侵食対策事業

箇所名: 浜松篠原海岸

照会者: 遠州灘沿岸侵食対策検討委員会委員及び参加者

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業再開を要望	養浜もしていない状況だと、いくら浜が回復したといっても、台風が2つ3つ来た時には侵食されている状況である。	養浜事業を再開し、砂浜の回復・維持に努める。
2	事業方針変更の懸念	浜松篠原海岸は松林と丘陵の農林堤防があり、その背後に盛土とCSGの防潮堤があるが、侵食が進むと、防潮堤を保護するために、海岸線が後退しないよう、コンクリート堤防になるのではないかと心配である。	養浜を主体とした事業を実施したうえで必要浜幅を確保し、防潮堤に影響のないように努める。
3	高頻度のモニタリングを要望	最近遠州灘沿岸の変化が激しい。もう少し短期的にモニタリングができるようお願いしたい。	定期深淺測量のほかに、定点写真撮影や簡易GPS汀線測量を実施する。
4	環境への配慮の要望	海岸の状況も養浜材の確保も厳しい状況だということは理解している。そういった中でも、環境についても最大限配慮いただくようお願いしたい。	養浜材のふるい分け実施等、できるだけ細砂分を中心とした養浜とするよう努める。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 河内諏訪沢

照会者: 河内諏訪沢砂防事業の受益者 54名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	土石流の危険性を感じる。早期着工をお願いする。	引き続き粘り強く用地取得を進め、早期着工を目指します。
2	事業継続を要望	大雨になると諏訪川が増水するので、早く砂防ダムを造ってほしい。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3	事業継続を要望	大雨時には、大きな石が音を立てて流れて不安です。	早期完成を目指して事業を推進していきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や市が発信する情報に沿って早めの避難をお願いします。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 御神川

照会者: 御神川砂防事業の受益者 5名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	土石流の危険性を感じる。早期完成をお願いする。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	事業継続を要望	国道が通行止めになると孤立してしまうので、早期の完成をお願いする。	”
3	事業継続を要望	大雨時には、大きな石が音を立てて流れて不安です。	早期完成を目指して事業を推進していきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や市が発信する情報に沿って早めの避難をお願いします。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 勤兵衛沢

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に15人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	大雨の度、夜寝られないので、一日も早く工事を進めてください。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	事業継続を要望	今後も工事の推進をお願いします。	”
3	意見	町内の砂防堰堤事業を進めて頂いていますが、残りの堰堤工事も早急をお願いします。	緊急度や保全対象などを考慮し、市や地域の御理解と御協力を頂きながら、順次、事業実施の可能性を検討していきます。
4	意見	山に人の手が入らなくて、山が荒れて土砂災害につながると思いますので、山の手入れを行うような行政をお願いします。	治山部局と連携しながら、土砂災害の防止に取り組んでいきます。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 子の上沢

照会者: 保全対象を含む地区住民19人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	意見	早くやってください。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	意見	農道に土砂が散乱しても、速やかな対策がされない事もある。	農道管理者に適正な道路管理を依頼していきます。
3	意見	平成29年度から測量・設計の実施をしていると言うが、未だ小浜地区に説明会すらないと思っている。今の状態で本当にダムが出来るのか工事に何年かかるのかが分からない。工事前に災害が起きた時どうなるのか不安である。	事業着手時に地元説明を開催し、事業趣旨を説明しています。早期完成を目指して事業を推進していきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や焼津市が発信する情報に沿って早めの避難をお願いします。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 芋堀寺沢

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に13人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	意見	寺沢を水源として近くの住民が給水しています。町水道が止まった場合、大切な水です。工事前には古い堰堤の下側に取り入れ口があり、大雨が降ると清掃をしておりました。新堰堤完成後も取水者が高齢者ばかりですので、なるべく近い所へ水源を設置して頂きたく、ご配慮をお願いします。	水源は従来の利用に支障が生じないように復旧します。
2	意見	天竜区は特に土砂災害の被害が大きいため大雨になると道路など心配です。	早期完成を目指して事業を推進していきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や浜松市が発信する情報に沿って早めの避難をお願いします。
3	意見	砂防堰堤の内側に土砂がいっぱいになるとその上をこえてくると思います。	定期的なパトロールで堰堤背後の土砂の堆積状況を確認し、必要に応じて除石を行います。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 土井戸南沢砂防

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に7人、浜松市担当職員2名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	その他自由意見	土砂災害警戒区域の範囲に疑問あり。	土砂災害警戒区域の範囲は、法令及び県の基礎調査アニュアル(案)に沿って適切に設定しています。
2	その他自由意見	政令指定都市になってから山道や道路の管理が行き届いていない。草が生え看板が見えないところも多い。	道路管理者に適正な道路管理を依頼していきます。
3	その他自由意見	砂防ダムの効果が最大限に発揮できるよう、砂防堰堤内の土砂や流木の除去について、定期的をお願いしたい。	定期的なパトロールで堰堤背後の土砂の堆積状況を確認し、必要に応じて除石を行います。
4	事業継続を要望	近年は集中豪雨による土砂災害のニュースをよく目にしますので、山間地の多い天竜区においては、土砂災害危険個所の整備を進めていただきたい。	緊急度や保全対象などを考慮し、市や地域の御理解と御協力を頂きながら、順次、事業実施の可能性を検討していきます。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 中山川支川奥沢

照会者: 保全区域の住民13名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	その他自由意見	地元の意見・要望を聞くこと	地域の御意見を丁寧にお聞きしながら、円滑な事業推進に努めていきます。
2	その他自由意見	砂防工事はありがたいが、危険場所を先に対応してほしい	緊急度や保全対象などを考慮した上で、重要度の高い箇所から事業に着手しています。
3	その他自由意見	奥沢下流の流れを良くしてほしい	河川管理者に適正な河川管理を依頼していきます。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地すべり対策事業

箇所名: 平野

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に5人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	意見	過去に区域内(Cブロック)で地すべりにより家が壊れ、住めなくなって移転した方がいる。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 横田久命

照会者: 横田久命急傾斜地崩壊対策事業の受益者 5名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	大雨時に落石などの危険性を感じる。早期完成をお願いする。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	事業継続を要望	工事が完成して不安がなくなった。残りの箇所も早く完成させてほしい。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 丸子赤目ヶ谷B

照会者: 丸子赤目ヶ谷B急傾斜地崩壊対策事業の受益者 47名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	温暖化による気象の変化と影響が今施工されている壁等の整備で大丈夫かどうか？	施設整備にあたっては、最新の基準に基づき設計を行っております。
2	事業継続を要望	大雨の日はいつも不安でいっぱいでしたが、法面を作っていたから安心して子供たちと過ごせるようになりました。この丸子地区にたくさんの時間を使っていたき、感謝しています。これからも、よろしく願い致します。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3	事業継続を要望	工事はOK17時以降の作業は音を立てずをお願いします。	地域の御意見を丁寧にお聞きしながら、円滑な事業推進に努めていきます。
4	事業継続を要望	安心して住めるように対策を進めてほしいです。(3名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
5	事業継続を要望	丸子地区の急傾斜対策を実施してもらいありがとうございます。事業に同意しない地権者がいた場合は、町内会からもお願いしたいと考えております。	地元と協力しながら、円滑な事業推進に努めていきます。
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 満水  
 照会者: 満水急傾斜地崩壊対策事業の受益者 10名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(10名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 下平田

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に6人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	急傾斜地崩壊対策工事をしていることに大変感謝しています。ありがとうございます。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	事業継続を要望	予算の確保が大変だと思います。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 防災・安全交付金【高潮対策事業】

箇所名: 御前崎港海岸

照会者: 御前崎市

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	事業に対する反対意見はなく、事業の進捗を気にしている。 早急な整備完了を要望する。	補正予算等を活用して事業の進捗を図ります。
2	事業継続を要望	今後も計画内容について情報共有を図りながら事業を進めていただきたい。	地元説明会等を開催し、情報を共有しながら事業を進めます。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 海岸(高潮)事業  
 箇所名: 土肥港海岸  
 照会者: 海岸(高潮)事業の受益者 15名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	災害はいつ起こるかかわからないので事業継続してほしい。 全国初の特別警戒区域の指定や避難タワーの計画もあり、観光地として安全をPRしたい。	土肥港海岸では、地元住民による“観光防災まちづくり”が進められており、その会議の中で意見集約等を実施しているため、地元合意が整った後、第4次地震被害想定とその対策を定めたアクションプログラムに基づき早期完成を目指します。
2	事業継続を要望	人命・財産を守る事業なので継続してほしい。 途中で中断しては意味がない。 早期完成してほしい。 観光地なので景観に配慮した計画してほしい。	
3	事業継続を要望	人命に関わる事業なので、継続してほしい。 人が集まる港なので、早期完成し安全な港にほしい。	
4	事業継続を要望	地震はいつ起こるかかわからない。 観光地として景観も大事だが、人命には替えられない。	
5	事業継続を要望	住民や働く人の人命に関わる事業なので、継続してほしい。 災害はいつ起こるかかわからないため、早期完成を要望。	
6	事業継続を要望	東海地震や南海トラフ地震等が注目を集める中で、高潮対策を優先して実施してほしい。 土肥地区は「津波防災に対する組織づくり」等の住民意識が高い地域であるため、率先した事業推進をお願いしたい。	
7	事業継続を要望	人命・財産を守る事業なので継続してほしい。 現在、土肥では津波対策事業の地元合意形成を一時棚上げした上で「海のまち安全創出エリア(津波災害特別警戒区域)」の指定を受け入れ、総合的な津波防災対策の強化を目指しているため、合意形成ができた時には即座に事業着手してほしい。	
8	事業継続を要望	人命に関わる事業なので継続してほしい。 沿岸住民の意見を聞きながら進めてほしい。	
9	事業継続を要望	人命第一、事業継続と早期開始をお願いする。 この事業には市民の意見が重要だが、特に次世代を担う中・高校生、20代の意見は大切だと思うので、それらの意見聴取の場を設けてほしい。	
10	事業継続を要望	津波対策は重要な事業。 海岸利用と国立公園としての自然との調和を考慮してほしい。	
11	事業継続を要望	人命に関わる事業なので継続してほしい。	
12	事業継続を要望	人命に関わる事業なので継続してほしい。	
13	事業継続を要望	人命に関わる事業なので継続してほしい。	
14	事業継続を要望	人命に大きく関わるので継続を希望する。	
15	事業継続を要望	市民の命に関わる事業なので、継続してほしい。 事業が完成すると、市民の安心感が大きくなる。 災害はいつ来るか予測できないので、早期完成を目指してほしい。	

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 防災・安全交付金【高潮対策事業】

箇所名: 榛原港海岸

照会者: 牧之原市

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	夏季は静波海水浴場が開設されるため、施工時期を配慮して事業を進めていただきたい。 また、サーフプールの開業時期についても配慮いただきたい。	海水浴シーズン等にも配慮しながら、早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	静波海岸への進入路に陸間があるため、陸間の嵩上工事の施工順序を地元の説明したい。	予算次第で施工順序が変わるため、予算確保が見込まれた段階で説明します。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料5

事業名： 廃棄物処理施設等整備事業

箇所名： 清水港(三保地区)

照会者： 清水区三保地区在住の住民5名

担当課：港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	港内の浚渫土砂の受入場所が限られているという点では、事業を継続し、受入場所を確保することは意味があることである。	都市化の進展や海洋環境保全等の観点からも、浚渫土砂の陸上処分地の確保や海洋投棄が困難となっている。引き続き、浚渫土砂の受入場所として機能を発揮させるとともに、事業を推進していく。
2	事業継続を要望	土砂の処分をするにも通常通り民間処分すれば高いコストがかかると思う。それを本事業により縮減することが出来ているなら引き続き継続すべきである。	浚渫土砂の処分にあたっては、他の公共事業への有効活用等も検討しつつ、引き続きコスト縮減に努め、事業を推進していく。
3	事業継続を要望	今までは民間会社の処分場だと思っていた。人目につかない場所の事業のため、事業内容をPRした方が良いのではないかと？	事業内容や本事業を実施することにより得られる効果等の広報活動にも力を入れていきたい。
4	事業継続を要望	港内の浚渫土砂の処分費が高い現状があるのであれば、受入場所を確保して、コスト縮減に努めるというのは良いことである。	引き続き、コスト縮減に努めつつ、事業を推進していく。
5	事業継続を要望	浚渫土砂は使い道が難しいと思う。受け入れることが出来る土地があるならば、有効利用すべきである。	浚渫土砂の処分にあたっては、まずは他の公共事業等への有効利用を検討し、有効利用先がない場合に当該処分場に埋立処分を行っている。コスト縮減の観点からも、引き続き浚渫土砂の有効利用先の確保を検討しつつ事業を推進していく。
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 街路整備事業  
 箇所名: JR東海道本線・JR御殿場線  
 照会者: 事業説明(まちかどトーク)来場者(平成29年4月～令和3年3月)

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	ガードの渋滞がひどいため、南北の道路がたくさんできることはいいことである。踏切の遮断時間もすごく長い。三つ目ガードの冠水を何とかして欲しい。	踏切が除却され、鉄道の高架下を横断する道路が拡幅、新設されることにより、交通の円滑化が図られ、道路混雑の解消につながる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	有事の際の自衛隊車両や緊急車両がガードや踏切を通れないこと、いざというときに今の沼津では機能しないことをもっとアピールして事業を進めるべきである。	鉄道を横断する道路が拡幅、新設されることにより、消防などの救急、消火活動が円滑に行われる。また、災害発生時の被害拡大防止や避難路の確保などが図られ、防災性が向上する。今後も市民の方への積極的なPRを行いながら事業を進めていく。
3	事業継続を要望	あまねガードは、今のままでは歩道が狭くてとても危険である。(駅の)入場券を買って、南北を通行している。	鉄道を高架化することで、アンダーパスは平面交差化され、駅の南北は円コースで通行することが可能となり、歩行者・自転車に安全で円滑な通行が確保されるため、今後も着実に事業を推進する。
4	事業継続を要望	早く高架して中心市街地のにぎわいを取り戻すことが重要。	今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進し、本事業を含む沼津駅周辺総合整備事業と併せて中心市街地の活性化を図っていく。
5	事業継続を要望	これまでの沼津は北側より南側ににぎわいがあったが、南側の駅前も西武が無くなってから寂しくなった。駅の南側はどんどん元気がなくなってしまう。高架が完成して、利用してみれば皆便利なことを実感すると思う。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して土地の高度利用を図り、高架化により南北市街地の一体化を図ることで、県東部地域の広域拠点としてふさわしい魅力的な空間づくりができる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	高架事業は進めるでよいのだが、それによって沼津のまちがどのように良くなるのか。まちのビジョンが何も見えてこない。	本事業を含む沼津駅周辺総合整備事業と併せて取り組むべきまちづくりに関する今後の取組や施策については、現在沼津市が中心市街地まちづくり戦略を策定し、検討を進めている。県としても市民の方への積極的なPRを行いながら事業を進めていく。
7	事業継続を要望	事業には賛成だが、事業費が多額なため市の財政も心配である。	沼津市は、平成29年6月に長期財政に関する試算をしており、長期的な収支均衡を示している。県としては、可能な限りコスト縮減に努めるとともに、事業費の平準化を図り、他事業とのバランスに配慮しながら事業を推進していく。
8	事業継続を要望	子供たちの将来のために、少子高齢化のためにも鉄道高架を進めたほうがよい	本事業は、交通の円滑化、鉄道跡地等の土地の有効利用、防災性の向上、にぎわいの創出が期待でき、今後、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。今後も早期完成を目指して事業を推進する。
9	見直しを要望	公共事業は無駄が多いので見直してほしい。	可能な限りコスト縮減に努めるとともに、無駄のないよう事業を推進していく。
10	事業中止を要望	橋上駅、南北自由通路だけあればよいで良い。事業費も高架事業より安価で事業期間も短くて良いのではないのか。	橋上駅では、駅周辺の歩行者の南北往来は可能になるものの、沼津駅周辺の慢性的な交通渋滞を解消することができない。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
11	事業中止を要望	鉄道高架事業はまちづくりに効果があるのか。人口減少、高齢化になるので、支出を抑えていくようにしなければならぬため、事業は必要ない。	本事業は、交通の円滑化、鉄道跡地等の土地の有効利用、防災性の向上、にぎわいの創出が期待でき、今後、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料5

事業名： 都市計画道路 志太中央幹線 街路整備事業

箇所名： 藤枝市天王町3丁目地内

照会者： 地元自治会関係者 13名、藤枝市商工会議所関係者5名

担当課：街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地域活性化のため、道路整備を継続してもらいたい。また、用地買収も進んでいるので、早期の完成を要望する。	本事業区間の整備により、県道伊久美藤枝線の渋滞緩和と藤枝市街地から国道1号へのアクセス機能が向上するため、早期完成に向け事業を推進していく。
2	事業継続を要望	都市計画道路志太中央幹線は、昭和40年後半から計画の話をしているが、半世紀が過ぎてもなかなか進んでいない。静岡県と藤枝市でもっと協力しあって早期完成を目指してもらいたい。	市や地元と協力し、今後も残りの事業区間についても、用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進していく。
3	事業継続を要望	歩道の並木整備や町内の景観等も考慮してもらいたい。地権者に当たらない周辺で生活する人に対しても考慮していただきたい	地元や関係機関と協議し、景観に配慮した整備を進めていく。また、事業を進めるにあたり近隣の方々に十分な説明を行い、住民の期待に応えるよう早期完成を目指して事業を推進していく。
4	事業継続を要望	本路線は、国道1号と藤枝岡部ICを結ぶ横軸の大動脈が繋がる重要な道路である。現県道までの区間を特に早期に開通できるよう願う。	引き続き買収済み箇所の整備を進めるとともに、未買収用地の交渉を行い、早期完成に向け事業を推進していく。
5	事業継続を要望	従来、天王町3丁目から藤岡地区へ通行している道路は、小学生の通学路であり(藤枝小学校)、志太中央幹線を横断する必要があるため、最低でも手押し式信号機の設置を要望します。(当初の説明会にて、横断歩道設置を聞いている) 上記を踏まえ、志太中央幹線完成想定での道路状況(道路横断の可否、信号機の設置場所等)について、早急に幹線付近住民に対し説明する場(説明会)を持ってほしい。	信号機や横断歩道の設置については、公安委員会や地元自治体等と協議していく。令和3年度に、工事説明会の開催を予定している。新型コロナへの対策に配慮しながらの開催になるので、説明の仕方も含めて検討中であり、準備ができ次第、地元の皆様へ説明会開催のご案内を行う。
6	事業継続を要望	現在、子供達が近所の公園を利用するときは、水守公園、藤岡公園に出向いたが、今後志太中央幹線を横断する危険性が伴う。天王町側から横断しなくても使用できる場所での公園が欲しい。	都市計画法に基づく公園の場合は、市が計画決定を行うことになるため、公園新設の要望があることを藤枝市へ共有していく。
7	事業継続を要望	気候変動による数年に一度の大雨やゲリラ豪雨を心配している。大手2丁目、左車地区は、志太中央幹線の道路より低い場所があり、床上・床下浸水が起こらないか心配。そういった被害が絶対起こらないような工事計画・設計を立て進めていってほしい。	志太中央幹線上の雨水は、路肩に設置する排水構造物で流末処理する構造になっており、沿道の土地へ道路上の雨水が流れ込まないように設計している。
8	事業見直しを要望	詳しい道路計画の内容は知りませんが、幹線道路で町内会が分断される状況で人の行き交うことが不便になる。信号の位置、歩道橋の設置を考慮して、安全でかつ不便に感じないよう要望します。	地域の皆様が安心して通行できる道路となるよう引き続き公安委員会など関係機関と調整を図っていく。
9	事業見直しを要望	幹線道路近隣に住んでいる住民に寄り添い「安全でかつ便利な生活」を最優先に、住民の要望等を具体的に多くの住民の意見を徴収し、事業の見直しをしながら進めていくべきだと思います。	地域の皆様の意見を伺い合意形成を図りながら事業を進めていく。
10	事業見直しを要望	計画から開通までの期間が長く、すでに免許返納の年齢となり、道路ができて利用することもなく、隣組へ回覧板を持っていくのも命がけとなり、今となっては騒音とほこりと町内分断となり、良かったとかが有難い等々がありません。	本路線は、志太地域の南北軸となる主要幹線道路であり、周辺道路の混雑緩和や歩行者等の安全の確保に繋がるため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進していく。

# 令和3年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料5

事業名： 都市計画道路 池新田中央線(中町工区) 街路整備事業

箇所名： 御前崎市池新田地内

照会者： 地元自治会関係者 12名

担当課：街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	近隣住民の納得を得て事業の継続をお願いしたい。	事業を進めるにあたり近隣の方々に十分な説明を行い、住民の期待に応えるよう早期完成を目指して事業を推進していく。
2	事業継続を要望	早期完成をお願いしたい。	引き続き買収済み箇所の整備を進めるとともに、未買収地の交渉を行い、早期完成に向け事業を推進していく。
3	事業継続を要望	交通の流れを改善するため早期に交差点部の拡大を希望する。	現在、交差点部分は歩道がなく右折レーンもない状態であり、交通の円滑な流れを阻害している状態であると認識している。早期に右折専用車線を設置し混雑解消を図りたいと考えている。
4	事業継続を要望	通学路の安全確保のため早期の歩道整備を要望する。	現道は歩道が狭く、通勤通学時の交通量が多いため危険な状況であると認識している。早期の歩道の整備が通学路の安全につながると思っている。
5	事業継続を要望	工事完了部分はバリケードを撤去してほしい。	工事完了部分は、順次関係機関と協議しバリケードが撤去可能な箇所は撤去していく。
6	事業継続を要望	舗装が悪いため夜間の大型車の走行音が気になる。	舗装については歩道整備と併せて打ち替えを行う計画であることから、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進していく。
7	事業継続を要望	県道の渋滞解消のため事業の継続をお願いしたい。	整備により、交差点部の渋滞緩和が見込まれることから、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進していく。
8			
9			
10			